

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(7/9)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
森里海連環高津川流域ふるさと構想特区(益田地区広域市町村圏事務組合)	正	B 3.7	B 3.7 進捗度 ・木材生産量 102% ・交流人口 138% 等	B 4.1 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業等 財政支援等 ・壊れない作業路網整備事業等 地域独自の取組 ・津和野町簡易作業路開設及び修繕事業(新規開設9路線2,852m、修繕3路線)等	-0.25	<p>・クラインガルテン事業の中止(※1)や豪雨災害等、予期せぬ要因によって事業の進捗が遅れており、独自の取組み(※2)についても、それを評価書上に効果的に表現できていない。</p> <p>・清流高津川のイメージをどのように海外にアピールしていくかが問われている。</p> <p>・観光を中心とした交流人口の成果(※3)が今後現われてくることに期待したい。</p> <p>(※1)体験宿泊型クラインガルテンの建設予定地において、飲料水として利用予定の水源の水質調査を行った結果、基準値を超えるヒ素等が検出されたことから、平成25年度において当該事業の休止が決定された。</p> <p>(※2)津和野町林地残材搬出に伴う自伐林家等支援事業、津和野町簡易作業路開設及び修繕事業等</p> <p>(※3)交流人口(平成25年度目標)70人、(実績)97人、進捗度138%。26年度からは、クラインガルテン整備事業の見直しも踏まえ、「外国人宿泊者数等を指標とする広義の交流人口の増加を目指す」としている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。